

# 1票の大切さ学ぶ

山形・介護事業所 模擬投票体験



模擬選挙を体験する「たんぽぽ工房」の利用者  
＝山形市

介護事業所「デイサポート」  
山形市の障害者向け生活  
たんぽぽ工房」で9日、  
市選挙管理委員会による出

前講座が開かれ、利用者約20人が模擬投票などを通じて選挙制度への理解を深めた。

市選管の職員が投票時の流れを説明。記載台で候補者の名前を書けない場合、投票所の担当者が代理で対応できることを伝えた。「家に届く選挙公報を読み、投票行動の参考にしてほしい」とも呼びかけた。たんぽぽ工房の関係者2人を候補者役に、利用者が模擬投票を体験し1票の大切さを学んだ。

投票所の雰囲気になんとも慣れてほしいとの思いから同施設では初めて実施。深瀬和美所長は「地域社会の一員として、誰もが選挙に参加する権利を持っていることを知ってほしい」と期待した。

(稲村裕介)